



テレワーク・デイズ2019&
スムーズビズ推進期間 プレイイベント



 向洋電機土木株式会社

2019.7.1 於 イイノホール

世間一般の建設業のイメージ

きつい、危険、汚い、給料が安い、
休暇が少ない、格好悪い、臭い、
苦しい、くだらない、怪我をする、

無知、無理、無茶、無策、無謀、
未熟、未知、みすぼらしい、
みつともない、**未来がない**、

建設業は10K&10M!!



テレワーク

先駆者100選、総務大臣賞、厚生労働大臣賞

代表取締役社長 倉澤 俊郎

横浜市南区井土ヶ谷下町16-6

<http://www.kouyo-dd.jp>

昭和40年3月設立

屋内外の電気設備 設計・施工

従業員数39名

(男性26名、女性13名)



■サテライトオフィス

建設業では、ある一定以上の現場になると『現場事務所』を設置します。現場事務所とは、事務作業をするために机やコピー機などの事務機があり、打ち合わせ用にテーブルがあつたりします。そして電気や水なども使える環境にあります。つまりICTを整備すればそこは**サテライトオフィス**になるのです。普通の会社ではサテライトオフィスを設置すれば、様々な費用負担とランニングコストがかかるのですが、建設業では元々あるものに対しての追加費用のみですので圧倒的に安く済むのです。



そして現場が複数あるということは、それだけサテライトオフィスの数が複数あるということになっているので他業種よりもさらに推進スピードと実証データが集まっており、トライ&エラーができるようになるのです。



■コスト削減

全てがテレワーク単体の成果ではありませんが、取組後に顕著に数字に表れた物として

ガソリン使用 H20年度34,000㍑ ⇒ H23年度 28,000㍑ ▲6,000㍑

本社電力使用 H20年度32,000kwh ⇒ H23年度 27,000kwh ▲5,000kwh

労働時間平均 H20年度2,100時間 ⇒ H23年度 1,900時間 ▲200時間

1 貧困をなくす



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を実現しよう



8 働きがいも経済成長も



10 人や国の不平等をなくす



12 つくる責任つかう責任



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

■会社全体の動向

テレワーク単体の成果ではありませんが…

売上 H20年度 約8億 ⇒ H30年度 約16億 過去対比2倍

社員 H20年度 20名 ⇒ H30年度 39名 過去対比1.9倍

女性 H20年度 1名 ⇒ H30年度 13名 過去対比13倍